

# いじめ防止子ども委員会

児童生徒のみなさんが、笑顔で安心して学校生活を送るために・・・



アンケートの実施  
\*言葉について考える

**考える**

「何が問題なのか」  
「自分に何ができるのか」

大切なことに  
気づくことができるよ



ポスターの作成  
\*いじめ・差別防止のために

**話し合う**

「自分の考えを伝える」  
「仲間の思いを知る」

新しいアイデア(考え)が  
生まれるよ

児童会代表者会議  
\*いじめゼロにするために

**行動する**

「仲間とともに」  
「自分たちの方法で」

笑顔の輪が  
広がるよ

リモートによる朝会  
\*みんなで決めた約束を  
学校全体に伝える



学校の主人公は、みなさん一人一人です。

いじめの問題を自分のこととして、本気で向き合ってください。

いじめを「しない・させない・見過ごさない」学校を

自分たちの力で作っていくこと、

それが『いじめ防止子ども委員会』の活動です。



# 生徒一人一人が主体的に行動できるように

あいずみ 藍住町立藍住東中学校  
東中いじメン委員会

## ★ 名称の決定

「生徒みんなが笑顔で学校生活を送れるよう主体的に行動する」という活動指針のもと、各クラス代表がそれぞれに自分の思いを語り、委員会のメンバー自らが真剣に名称を考えました。「いじめない・いじめ無い」と「Men (人間・生徒)」に徳島の方言を掛け合わせて「いじめをなくしていく」という決意のもと「東中いじメン委員会」と全員一致で名称を決定しました。

## ★ SNSの使い方

生徒間でトラブルになりやすいSNSの使い方についても委員会で話し合いました。「SNSの使い方」に少し気をつけるだけで、トラブルが減るのではないかと考え、みんなに分かりやすく、覚えやすいキャッチフレーズを考えました。

「SNS Sスマートフォン N仲良く使って Sスマイルフォン」という言葉を入れたポスターを各クラスの委員が作成し、教室に掲示するなど啓発に努めました。



自分たちで決めたことだから、活動する意欲がわいてきました。他学年の人たちと話し合うことで、いじめについて改めて考えさせられました。

# みんなが笑顔（スマイル）になれる学校にするために

北島町立北島北小学校  
北小スマイルいじめ防止委員会

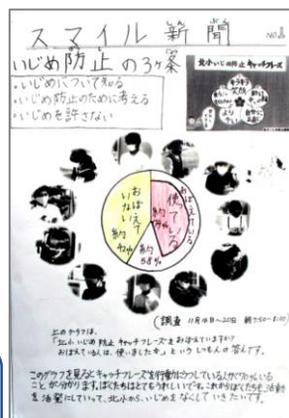
## ★ キャッチフレーズづくり



全学級に、一人一人が笑顔になれるキャッチフレーズを考えてもらい、委員会で話し合いました。みんなが覚えやすいようにするために、「き・た・し・よ・う」の文字で始まるキャッチフレーズを、校章（うめの子）に似たイラストに描きました。

キャッチフレーズが学校生活に生かされているかをインタビューして調べ、結果を新聞にまとめました。

キャッチフレーズを印刷して全員に配りました。



キャッチフレーズを覚えて行動にうつしている人が増えてきているのでうれしいです。これからも呼びかけていこうと思います。自分たちのキャッチフレーズがあるので、「いじめをなくしたい」という意識が高まってきました。



# みんなが笑顔で通える 学校にするために

はしくら  
三好市立箸蔵小学校  
生活向上委員会

生活向上委員会が「いじめ防止委員会」の活動をしています。「もっと仲良く、もっと楽しい学校になるように」できることはないかを話し合い、実践しています。

- ★ **ともだちクイズ** 毎週水曜日、給食時間の放送を活用して「ともだちクイズ」を行っています。全校児童が自分に関する3択クイズを作り、出題します。好きなことや特技、家族に関することなど内容は様々です。正解を発表した瞬間、教室から「やったー！正解だ。」など歓声があり、学校中が楽しい雰囲気になります。



友達についての新しい発見がありました。あまり話さなかった子とも、話すきっかけができてよかったです。



- ★ **めざましおみくじ** 週に1回程度、「めざましおみくじ」を行っています。生活向上委員会の児童が、放課後、各学年の教室に手作りのおみくじを内緒で隠しておきます。翌朝登校してきた児童は、1人1枚のおみくじを見つけることができます。大吉・中吉などの運勢の他に、学校生活を楽しくするためのアドバイスも書いてあり、登校時刻が早くなるぐらいおみくじを楽しみに学校へ来る児童も増えました。



# 仲間とともに 共感する力を育むために

あなんしえん  
徳島県立阿南支援学校  
人権・いじめ防止委員会

- ★ **オリジナル「人権かるた」**



人権・いじめ防止委員会の生徒が読み札の文言や絵札のデザインを考え、制作したオリジナル「人権かるた」を使ってかるた取り大会を行いました。生徒たちは、仲間とかるた取りを楽しみながら、読み札の文言についても考えました。

例えば、「ことばには 天使と 悪魔がすんでいる」という札が読まれると、「天使のことば、悪魔のことばってどんなことばだろう？」や「ことばにはそれを言った人の心が乗せられて届くって、先生から聞いたよ。」というように、お互いの意見や感想を伝え合い、相手を思いやる気持ちや気持ちを表すことばについて考えを深めました。

この「人権かるた」の活動は、仲間とのあたたかい人間関係づくりにつながっています。



「ロックしよう いじめの扉 開かぬように」の読み札の思いを忘れず、「人権かるた」の活動を多くの人たちに広めていきたいです。



# 『全国いじめ問題子供サミット』への参加

全国の小中学生がいじめ防止について意見を交わす『全国いじめ問題子供サミット』が令和3年1月23日（土）にオンラインで開催され、徳島県からは徳島市千松小学校の代表児童6名が参加しました。

千松小学校は「いじめ防止子ども委員会」の取組を発表し、「いじめ0にするために自分たちにできることを考えよう」というテーマで話し合い、出された意見をもとに様々な活動に取り組んだ様子を全国の仲間たちに伝えました。

サミットでは、参加校が創意工夫をこらした取組を発表したり、サミットのテーマについてグループごとに意見を交換したりして、全国の仲間たちと交流を深めることができます。皆さんも参加してみませんか。

## 千松小学校の主な活動

- Zoomを活用した児童朝会の開催（学校や生活のルールの確認）
- 新型コロナウイルス感染症に関するポスターづくり（差別や誹謗中傷を未然に防ぐ）
- 毎朝のあいさつ運動 など

## 参加した児童の感想から

- 「ネットいじめ」のように、今、考える必要があるだろうという問題に取り組んでいるところが、とても参考になった。また、取組の内容を全校児童へ発信し、知らせることも大事だと思った。
- いじめを相談できる環境をつくるのが大切だという意見はとても共感できた。どんな相談環境をつくれればいいか、考えていきたい。



- いじめにあったときにどう対応するかも大事だけれど、いじめをなくすためにどうすればよいかを考えることも大事だと思った。そういう話し合いを日頃からしていくことも必要だと感じた。
- どの学校の取組もすばらしい内容だった。自分の学校でも実践できるものを考え、みんなが幸せに過ごせる学校にしたい。

## 保護者の皆様へ

いじめは決して許されないことであり、誰もがいじめをなくしたいと願っています。しかし、いじめはどの子どもにも、どの学校にも起こりうることです。

このリーフレットは、子どもたちがいじめ問題を自分たちのこととしてとらえ、解決に向けて高い意識をもって行動してほしいとの願いから作成し、小学4年生から中学3年生までの児童生徒に配付しました。紹介した5校以外にも、子どもたちによるいじめ防止に向けた特色ある取組は、県内各地の学校に広がっています。

県内全ての公立小・中学校、中等教育学校、特別支援学校小・中学部に設置されている「いじめ防止子ども委員会」は、子どもたちの主体的な活動を推進する手立てになるものと考えています。

すべての子どもたちが笑顔あふれる学校生活を送れるよう、子どもたちの主体的な取組にご支援をお願いします。